



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2018/3/3発行

第40号

2期生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

仲間の力で人間不信を克服！ 本来の明るい自分を取り戻す

2期生
成長ストーリー



日本ベンジャミン人間性英才学校
2期生 砂崎 みなみさん

2期生の砂崎みなみさんは、写真そのままの笑顔が素敵な元気のよい生徒ですが、入学前の彼女は「友達はいらない」と思っていたそうです。中学生の頃、ほかの生徒と些細なことから関係がこじれて不登校になったことがきっかけでした。

みなみさんの大きな変化は、全国から集まった同期生とのワークショップでの交流にありました。「一度覚えた人に対する不信感がすぐに消えたわけではありませんが、仲良く

しようと思んが話しかけてくれたり、どうしたらいいのかわせてくれたり、一緒に動いたりしてくれました。また先生方も、否定せず、頑張ったことに気づき褒めてくださったり、戸惑っている時に背中を押してくださりそれが自分の自信につながりました。」とその頃のことを話してくれました。



5月の第1回ワークショップではまだ恐怖心の方が勝っていたようですが、8月の第2回ワークショップでは韓国の生徒と交流するうちに、自分が思っていた以上に人が怖くなくなっていることに気がついたそうです。11月の第3回ワークショップでは、「話し合う機会が多くありましたが、意見を出すことができ、何か気づい

た時に自分から動くなど積極的に活動することが出来ました」と、心の変化が行動として現れるようになりました。

「最初は話すことすら難しかった私は、今ではこうしてこれまでの成長を話すまでになっていきます。人間不信を引き起こした出来事によって私は、自分も友達も信じられませんでした。でも今は、友達は宝物だと思っています。私がかこまで成長できたのは、ベンジャミンの友達と一緒に活動してきた仲間がいたからです。人が怖くてどうしようもなかった時、ここまでなら大丈夫かな、これは嫌かなと考え、思いやりながら接してくれていたのを感じていました。勇気が持てず、なかなかできなかった時、「一緒に頑張ろう」としたら出来るよ



「大丈夫！」と声をかけ一緒に頑張ってくれました。私がかこうして話せているのは、ワークショップの時にみんなで過ごした日々があるからです。私は、仲間の力でここまで成長しました。このベンジャミンの思い出も、ベンジャミンの友達も宝物です」



日本ベンジャミン人間性英才学校では、生徒同士の交流の中で、コミュニケーション能力を高めて豊かな人間関係を築くためのカリキュラムを用意して3期生を募集しています。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

5
Nothing



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題